

～ 第44回 ～

景気動向調査結果

－ 令和 4年 4月分 －

[調査概要]

1 調査対象期間 令和4年1月～令和4年3月

2 調査対象企業数(H27～)

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 98% (98社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしておりますが、令和3年10月分は100社へ訪問した結果です。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

令和4年4月分(令和4年1～3月対象)の景気動向

1 総論

売上については、いわゆる第6波により1月末から3月初旬にかけてのまん延防止等重点措置の発出があり、この影響によりマイナスとなりました。

今後の見込みについては、コロナ感染者数は高止まりで推移しているものの、まん延防止等重点措置の解除からイベント等の再開、GWの人流の回復などへの期待もあり、微増となりました。

コストの状況については、コロナの長期化と併せ、ロシアによるウクライナ侵攻の影響等により、原材料やエネルギー関連を中心に多くのものの値上がりが更に進み、この状況がいつまで続くのかが懸念されています。人件費は、前回調査からほぼ横ばいという状況。下請単価およびその他経費では、各種値上がりの影響もあり、それぞれ上昇回答が約20ポイントの増加となっています。

経営課題については、前回に引き続き「原材料・仕入高」が最多回答となりました。2番目には前回から14件の増加となった「燃料・配送コスト上昇」が挙げられ、影響が拡大していることが窺えます。

コロナおよび昨今の海外情勢による影響では、半分の事業所でコロナ・海外情勢の両方の影響を受けているという状況で、今後の海外情勢の影響が懸念されるという回答も含めると77%となり、多くの事業所でコロナに追い打ちをかける形で影響が出ていることが窺えます。

海外情勢による影響の内容としては、原材料等の仕入や電気・燃料等のエネルギー関連といったコストの増加に多くの回答があり、また、これに併せて増加分を価格転嫁できていないとの回答も多くなっており、利益の圧迫等が懸念される状況が窺えます。

上記のような影響下において期待する対策・支援策については、補助金・給付金、減税・免税との回答が上位となりました。また、仕入を始めとしたコストが上昇する中で売上確保のための個人消費喚起施策や支払い対応等のための資金繰り施策についても20件を超える回答がありました。

2 売上

業種別の状況は、県でのまん延防止等重点措置発出およびロシアのウクライナ侵攻等での海外情勢の影響により、全ての業種で前回調査時より減少となりました。

今後の見込みについては、卸・小売、宿泊・飲食ではまん延防止等重点措置の解除による回復傾向やGW等での人流の回復により増加見込みとなりました。また、製造業では引き続きの半導体不足や海外情勢の影響も懸念され減少見込みとなりました。

【主なコメント】

◆増加・減少要因

- ・1～2月のまん延防止等重点措置の影響により減少－卸・小売
- ・ウクライナ侵攻による影響等で納期遅れや仕入れが出来ず機会損失等がある－建設
- ・半導体不足や海外でのロックダウンの影響により受注が戻らない－製造
- ・まん延防止等重点措置により悪化したが、解除後は客足が戻りつつある－宿泊・飲食
- ・コロナの影響が続いており、依然として厳しい状況が続いている－サービス

◆今後3ヶ月予想

- ・人流の回復が見込まれ好転予想－卸・小売
- ・コロナの影響、納期の遅れの影響により悪化予想－卸・小売、宿泊・飲食
- ・半導体不足、ウクライナ情勢等の影響による電気・工業系の悪化が懸念される－製造業
- ・御開帳に併せて新商品の売り出しを始め好調であり、今後も継続予定－宿泊・飲食
- ・円安が長期化すれば影響が出てくる－サービス

3 コスト状況

原材料については、前回調査から継続して原油を始め、金属・木材・紙製品・食品など多くのもので価格高騰の影響が出ている状況が窺えました。

人件費については、定期昇給・新規採用等人員増加に加え、業種によっては仕事量の回復により、残業代の上昇による増加という回答もありました。

その他経費においては、前回より引き続き燃料関係の上昇回答が多くあり、また海外情勢等による円安の影響についても製造業・宿泊・飲食業より回答が挙がっています。

【主なコメント】

◆原材料

- ・世界的なインフレによる影響がある－卸・小売、サービス
- ・原油高騰の影響－卸・小売、建設業、宿泊・飲食、サービス

◆人件費

- ・定期昇給による増加－建設、製造、宿泊・飲食
- ・従業員増員による上昇－宿泊・飲食、サービス

◆その他経費

- ・ガソリン等の燃料関係コストの上昇－卸・小売、建設、製造、宿泊・飲食、サービス
- ・円安の影響－製造業、宿泊・飲食

4 資金繰り

前回調査時より大きな動きはありませんが、「最近苦しい」「引き続き苦しい」との回答が微増という状況となりました。

【主なコメント】

- ・返済を先延ばしにしている、借りても返済が出来るか不安であり借入は考えていない

5 経営課題

前回調査時に引き続き「原材料・仕入高」が最多回答という状況となりましたが、物によっては価格が倍増し、価格転嫁の必要が出てきているが、簡単には値上げが出来ず、結果として利益を圧迫してしまうという大変厳しい状況も窺えました。

また、納期の長期化により、受注があっても供給するものが無く機会損失となってしまう、人員の確保が難しく思うような営業が出来ていないという状況も出てきています。

【主なコメント】

- ・仕入れ値の上昇等、利益の圧迫等が懸念される－卸・小売、製造業、宿泊・飲食
- ・元請けの受注減少により下請けにも影響が出ている－建設
- ・後継者・営業社員不足により M&A も検討している－サービス

6 コロナおよび昨今の海外情勢による影響について

コロナおよび海外情勢における影響の状況では、卸・小売、製造、宿泊・飲食においては50%以上、建設、サービスでも30%以上が既にコロナ・海外情勢どちらの影響も受けているという回答となりました。また、海外情勢の影響が今後懸念されるという回答も含めると、卸・小売で94%、宿泊・飲食では100%という結果となり、今後の状況が心配されます。一方で、コロナ・海外情勢ともに影響がないという回答は全体で4%という結果となりました。

影響の具体的な内容については、「3.コストの状況」に記載のとおり電力・燃料関係を中心とした仕入や経費コストの上昇と、コスト増加に伴う価格転嫁が進まないとの回答が上位となりました。

また、選択肢以外の回答では、原材料不足により仕入れができない、納期が遅れていることや為替レートの変動の影響との回答が挙げられています。

現状に対しての国等に期待する対策・支援策については、補助金の充実、減税・免税施策、新たな給付金の創設が上位となりましたが、選択肢以外での回答としてはインフレ対策や規制緩和、また借入金の返済についての減免や利子の補助についての支援も挙げられました。

【主なコメント】

◆新型コロナ感染症の長期化および海外情勢の影響について自社の状況は？

- ・半導体不足により資材の調達が遅れているー建設
- ・ロシアからの天然資源の不買により不足ー製造
- ・海外で起こっている事に振り回されないよう早めの対応策を出して欲しいー製造

◆海外情勢による影響内容（懸念も含む）（その他の項目への記入内容）

- ・物流の混乱、品不足、納期遅延ー卸・小売、建設、製造、サービス
- ・輸入品の為替レート変動の影響が大きいー卸・小売
- ・値上げを検討しているが1割が限界か、1割で高騰した分を埋められるかどうかー卸・小売

◆海外情勢の影響下の現状で、国等に期待する対策・支援策は？（その他の項目への記入内容）

- ・金利を下げてインフレを防ぐー卸・小売
- ・借入返済減免措置ー卸・小売
- ・省エネ設備更新に対する補助制度ー卸・小売
- ・お金をばらまき過ぎて当たり前（クセ）になってきているー建設
- ・業種を広げて各業種の実状に合った支援をして欲しいー建設
- ・規制緩和ー製造
- ・為替の安定策、円安対策ー製造
- ・価格転嫁対策ー製造
- ・信州割のニーズが多かったので、追加策に期待ー宿泊・飲食
- ・固定資産税の免税ー宿泊・飲食
- ・コロナ対策での借入金利息補助を強く希望しますー宿泊・飲食
- ・入札の金額が前年を下回らないようにして欲しい。適正価格でお願いしたいーサービス

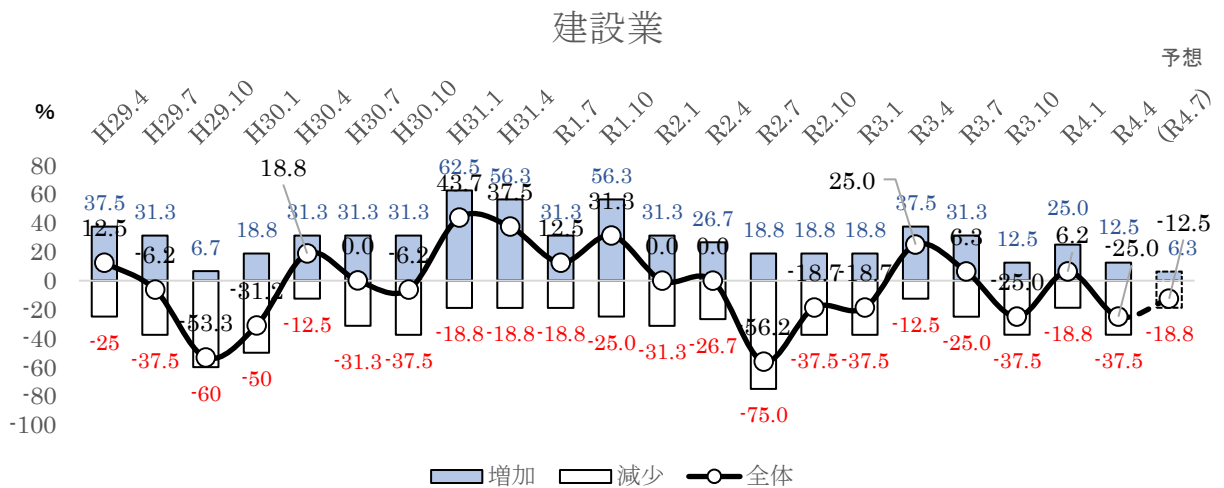
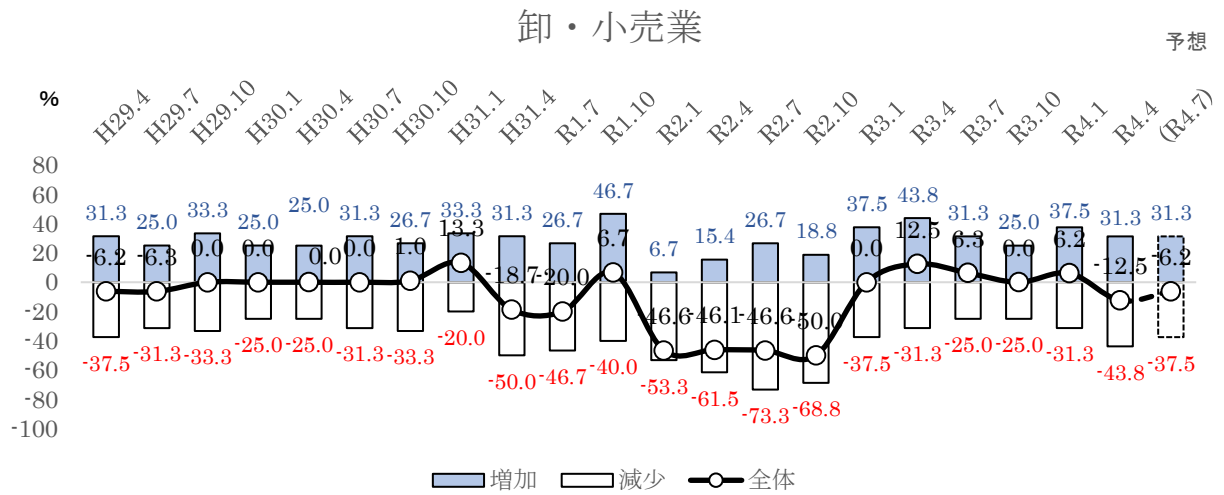
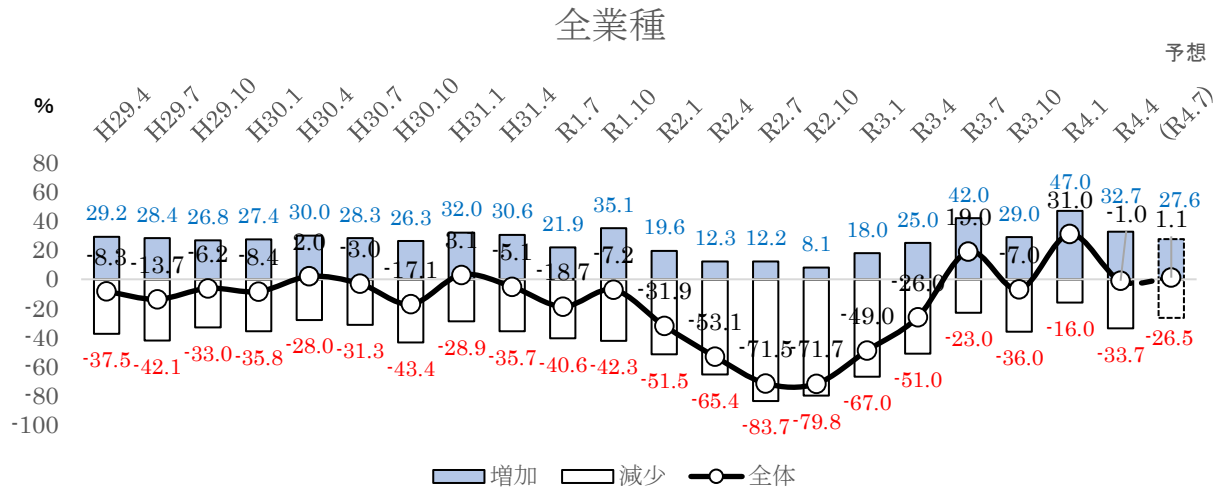
◆その他

- ・設備工事（公共工事）をもう少し出して欲しい
- ・コロナはあと少なくとも1年は続くのでは・・・、ロシアの問題も長引きそうで不安
- ・コロナは全業種に影響していると思う。一部の業種だけへの施策はもうやめて欲しい
- ・制度資金の利子の優遇期間を延長して欲しい

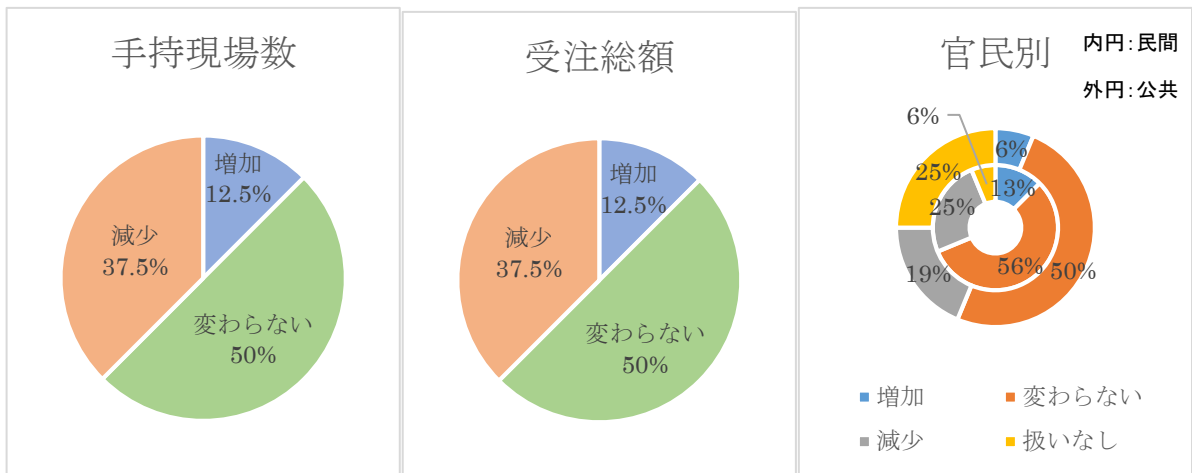
景気動向調査集計結果

I 売上・受注高

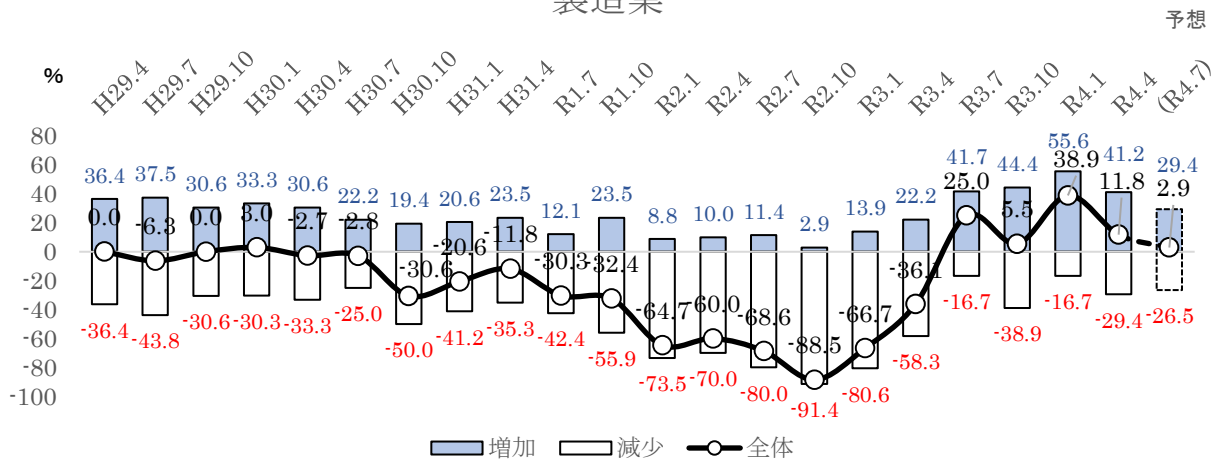
■ 最近3か月、前年同期と比べて及び今後3か月の予想



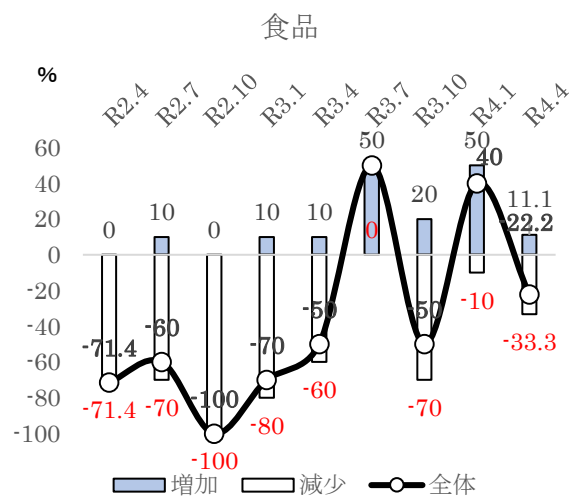
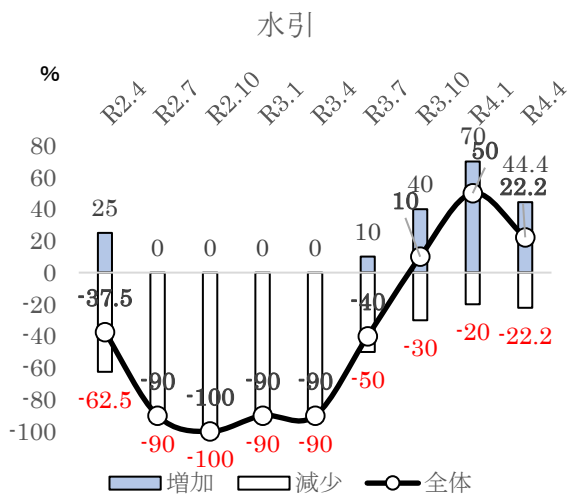
(建設業)



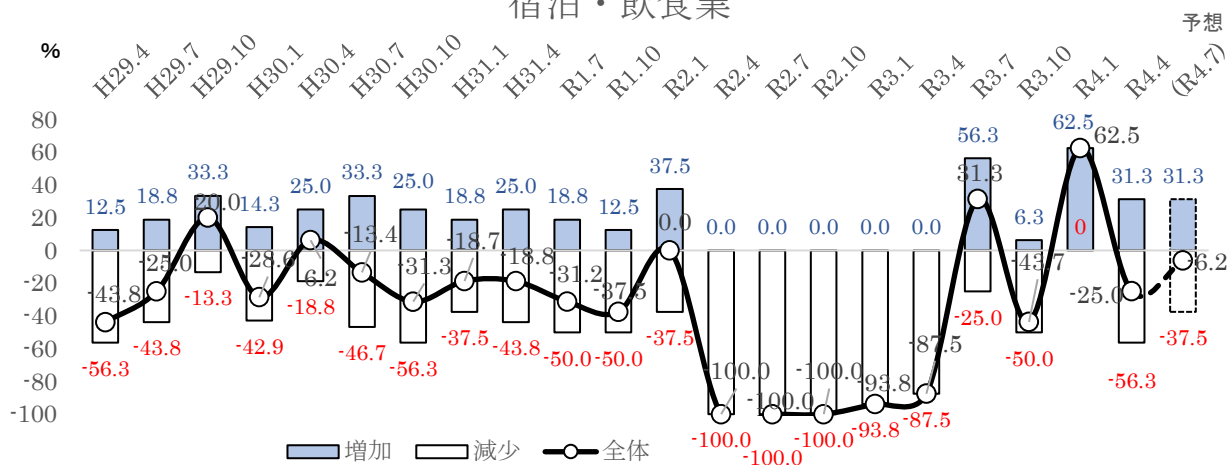
製造業



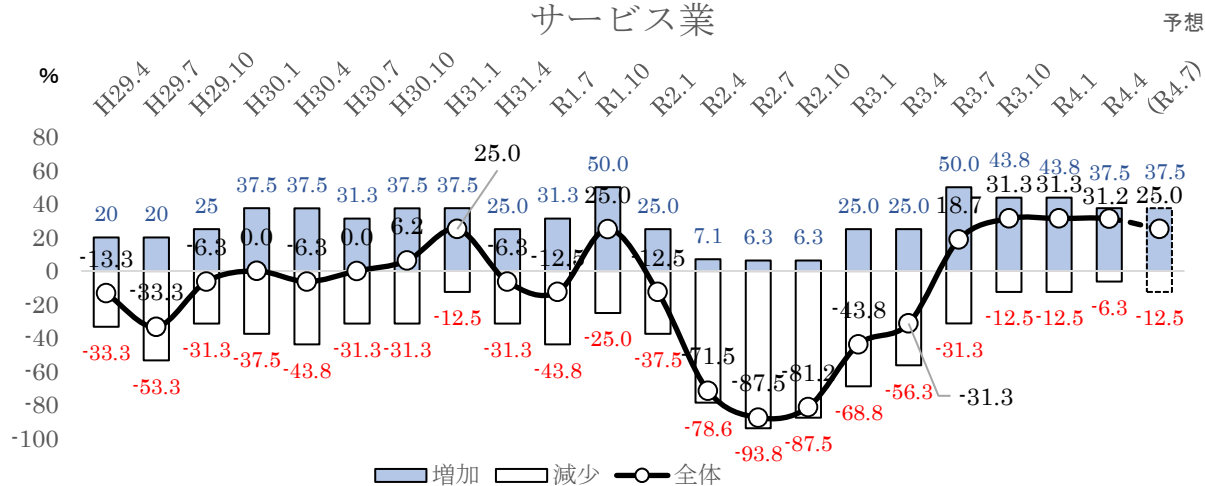
(伝統産業)



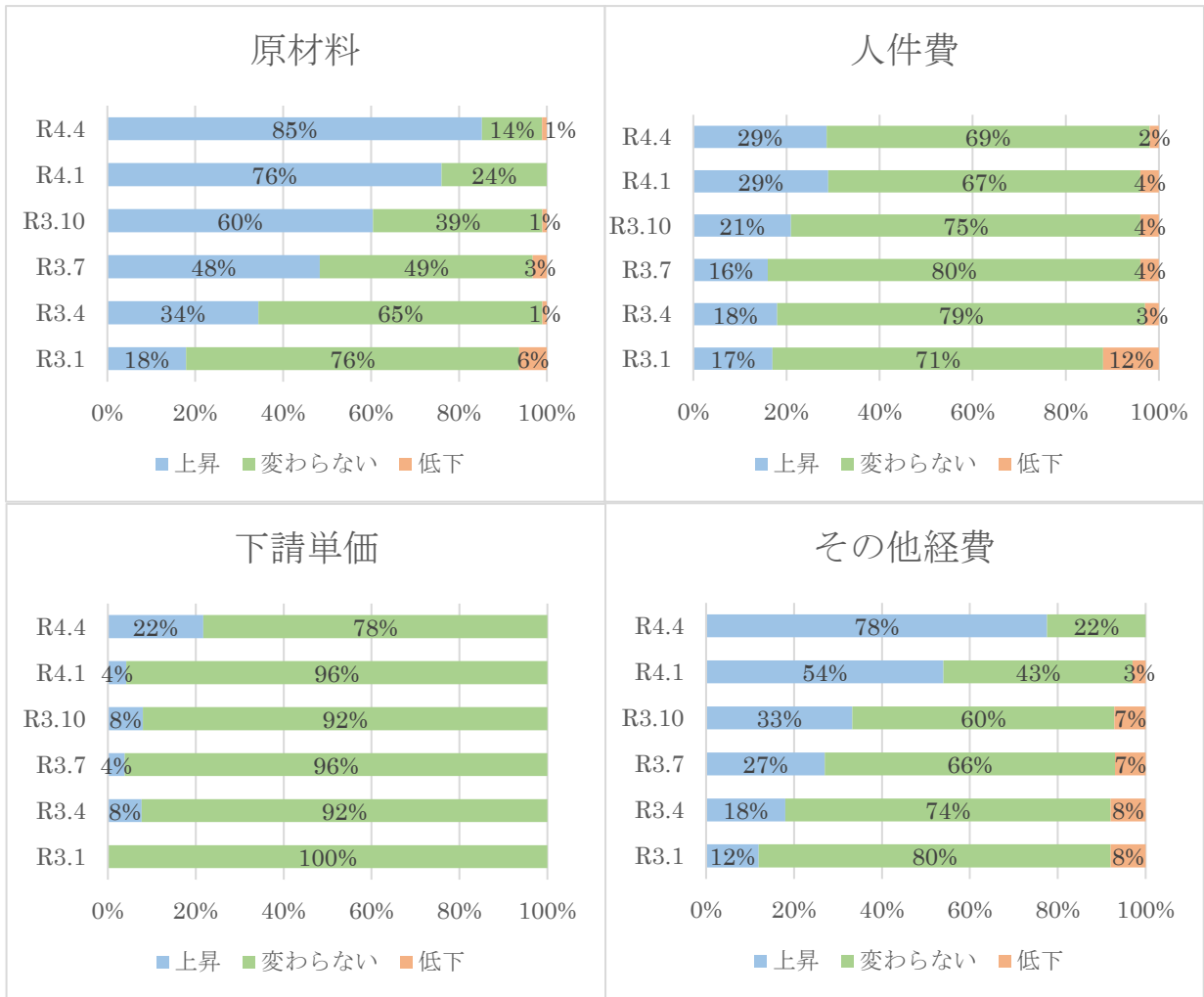
宿泊・飲食業



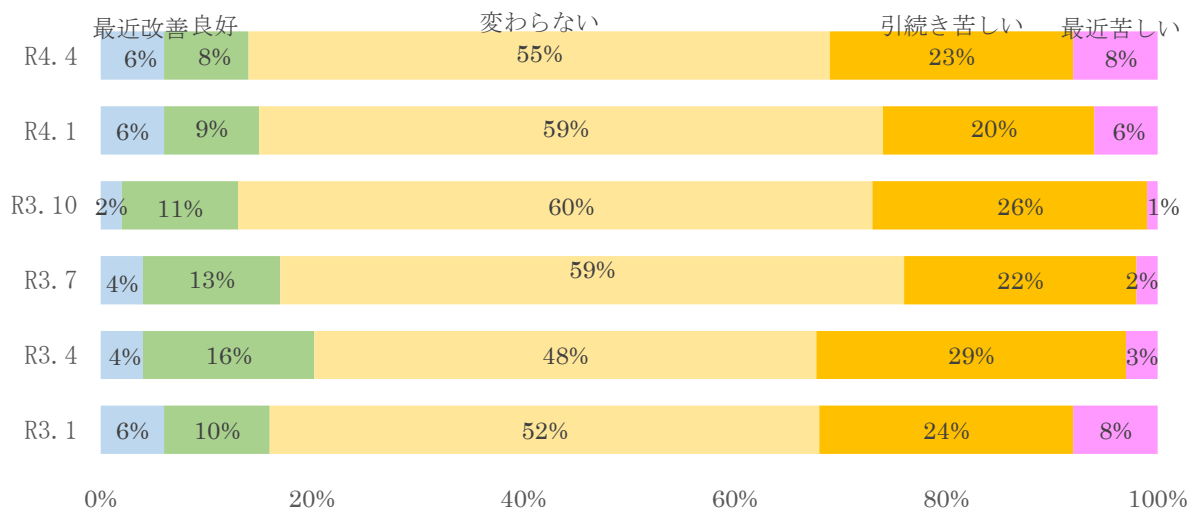
サービス業



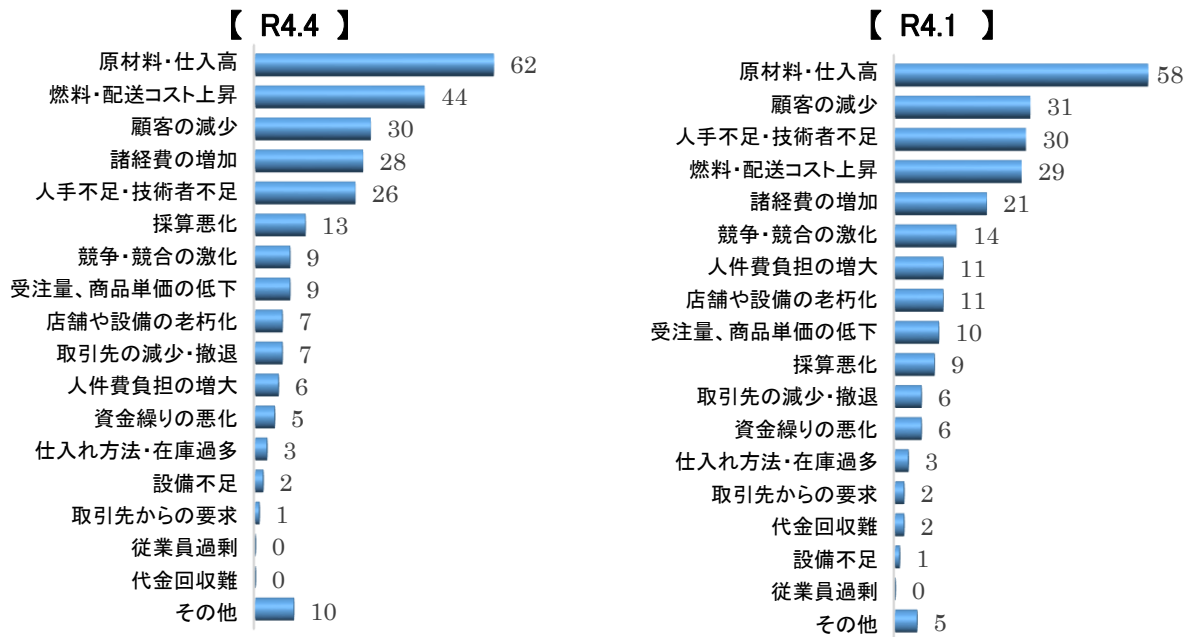
Ⅱ コストの状況 ー前年同期と比べてー(全業種)



Ⅲ 資金繰りの状況 ー前年同期と比べてー(全業種)

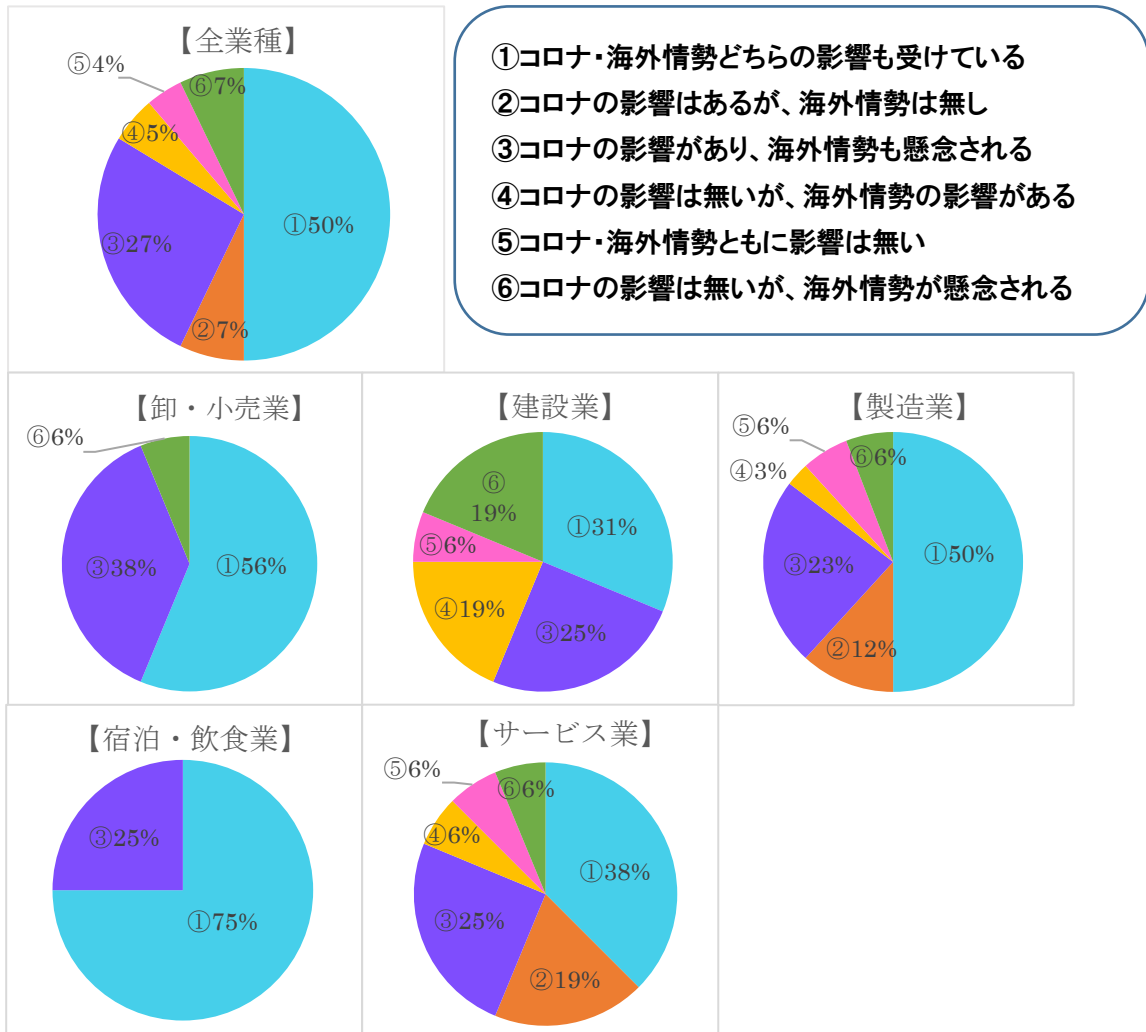


IV 経営上の課題(全業種) ※3つまでの複数回答

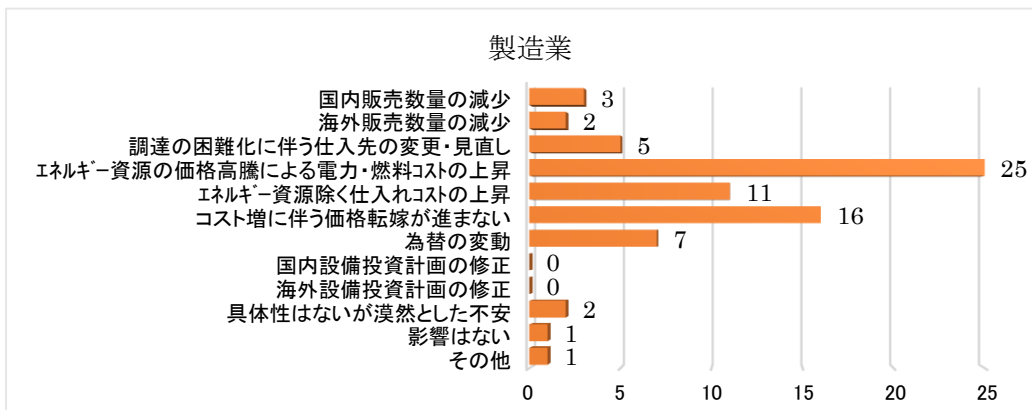
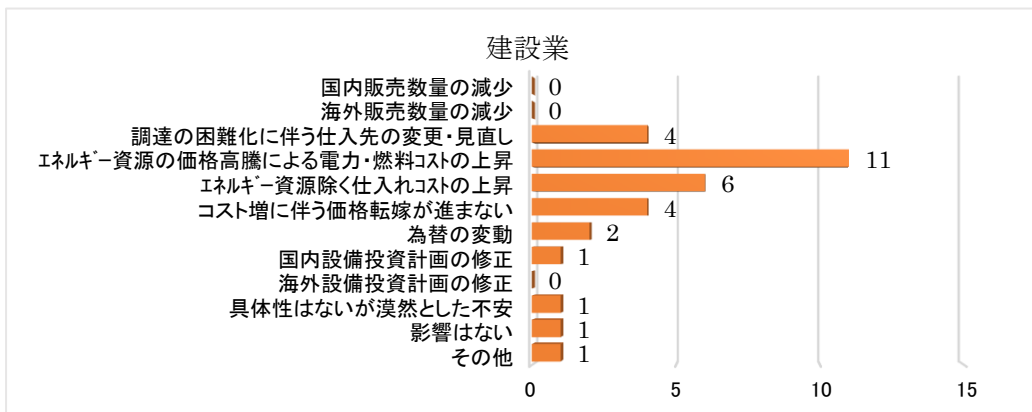
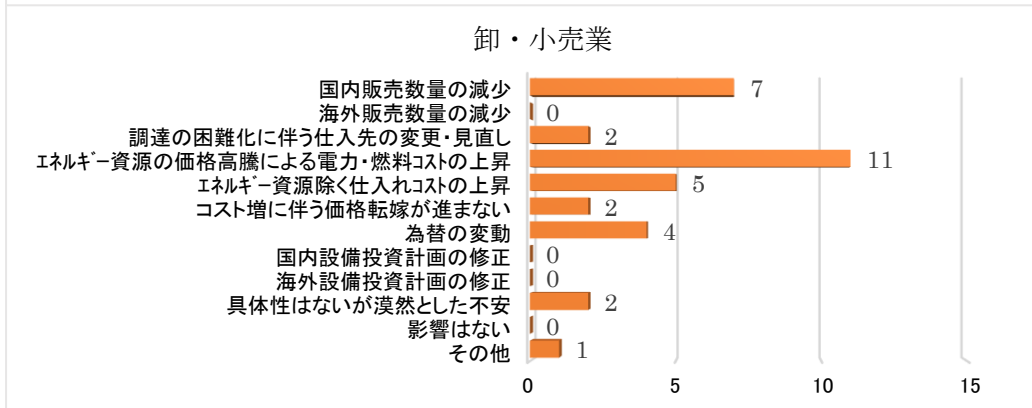
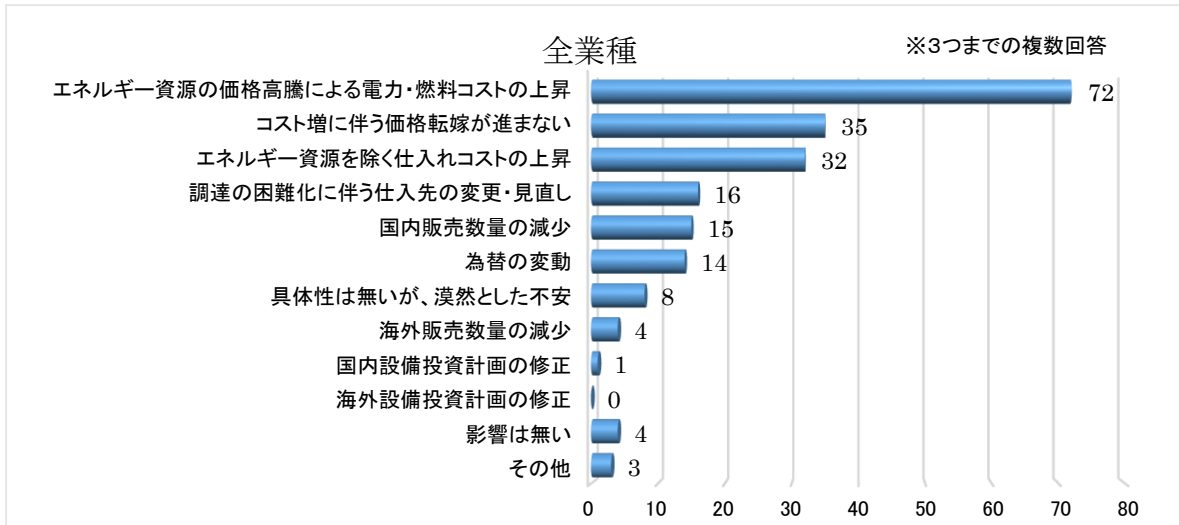


V コロナおよび昨今の海外情勢による影響について

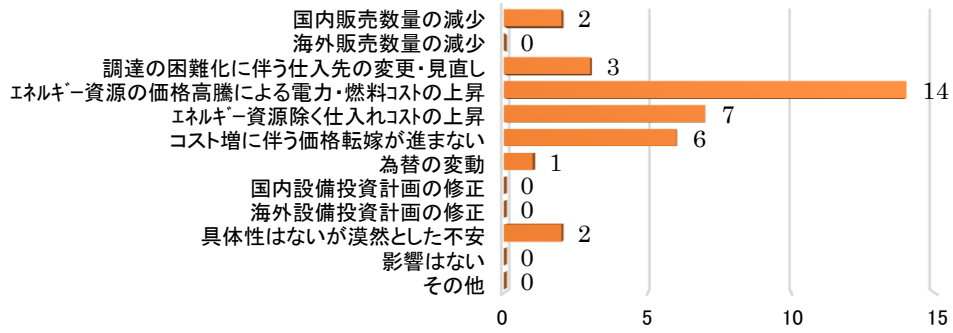
(1)新型コロナウイルスの長期化および海外情勢の影響について自社の状況は？



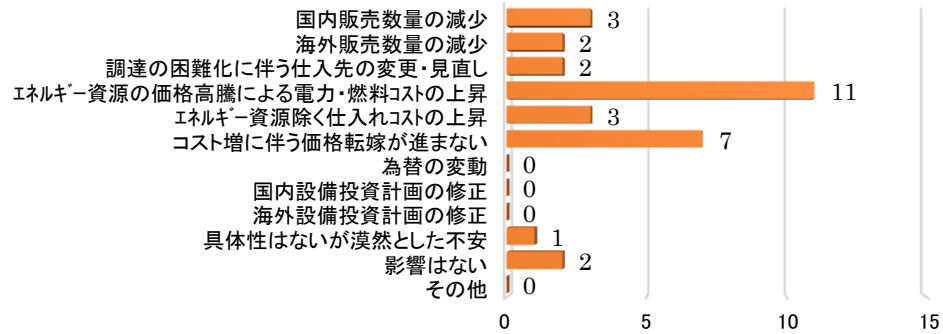
(2)海外情勢による影響内容(懸念も含む)



宿泊・飲食業



サービス業



(3)海外情勢の影響下の現状で、国等に期待する対策・支援策は？

